

令和7年（2025）5月 入域観光客数概況（確定版）

84万2,600人
対前年（R6）同月比 +13万2,200人、+18.6%
～5月としては過去最高～

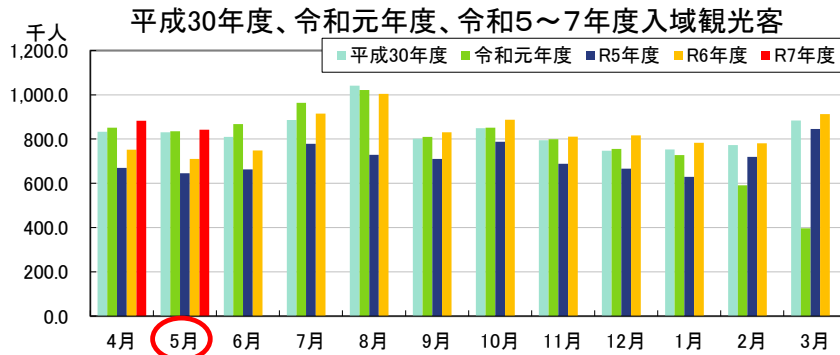
【更新履歴】①令和7年6月25日速報版公表
②令和7年8月25日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、8月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※R元年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
国内客	601,000 人	561,500 人	+ 39,500 人	+ 7.0%	71.3%	566,500 人
空路	588,300 人	559,500 人	+ 28,800 人	+ 5.1%	69.8%	556,300 人
海路	12,700 人	2,000 人	+ 10,700 人	+ 535.0%	1.5%	10,200 人
外国客	241,600 人	148,900 人	+ 92,700 人	+ 62.3%	28.7%	268,400 人
空路	166,700 人	111,500 人	+ 55,200 人	+ 49.5%	19.8%	162,300 人
海路	74,900 人	37,400 人	+ 37,500 人	+ 100.3%	8.9%	106,100 人
合計	842,600 人	710,400 人	+ 132,200 人	+ 18.6%	100.0%	834,900 人

※外国客には、海路における乗務員等25,800人を含む。



国内客 入域状況

5月は、ゴールデンウィークの旅行需要に対する航空会社の増便、臨時便があったことのほか、県内各所で開催されたイベント等により、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。
6月は、航空会社による臨時便等があること、国内・県内発着クルーズの寄港が多数予定されていることから好調に推移すると見込まれる。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	281,100 人	263,400 人	+ 17,700 人	+ 6.7%	46.8%
関西方面	137,300 人	130,500 人	+ 6,800 人	+ 5.2%	22.8%
福岡方面	73,500 人	70,600 人	+ 2,900 人	+ 4.1%	12.2%
名古屋	49,200 人	45,400 人	+ 3,800 人	+ 8.4%	8.2%
その他	59,900 人	51,600 人	+ 8,300 人	+ 16.1%	10.0%
合計	601,000 人	561,500 人	+ 39,500 人	+ 7.0%	100.0%

参考：国内線経由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	20,500	43%	12,400	52%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	12,000	25%	4,400	19%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	6,800	14%	2,600	11%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	1,400	3%	800	4%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	400	1%	200	1%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	6,200	13%	3,200	14%	
合計	47,300	100%	23,600	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出（推計方法が異なるため、年度比較に留意）。
※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

5月は、石垣－台北路線（5月28日～10月25日）の運航再開等があったことのほか、台湾発着のクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年同月を上回った。
6月以降については、那覇－香港路線（6月1日～）の新規就航や那覇－杭州路線（6月21日～8月30日）、下地島－香港路線（6月27日～）の運航再開等があることに加え、台湾・中国本土・香港発着のクルーズ船の寄港が複数回予定されている等から好調に推移すると見込まれる。

トピック ▶【台湾】タイガーエア台湾は石垣－台北路線（7月17日～）を週2便で新規就航予定。

トピック ▶【シンガポール】ジェットスター・アジアによる那覇－シンガポール路線が7月31日をもって運航停止。それに伴いシンガポール航空グループのスクートが同路線を引き継ぐ形で就航する見通し。

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	88,500 人	52,000 人	+ 36,500 人	+70.2%	36.6%
韓国	55,200 人	35,200 人	+ 20,000 人	+56.8%	22.8%
中国本土	40,300 人	24,700 人	+ 15,600 人	+63.2%	16.7%
香港	13,900 人	17,300 人	△ 3,400 人	△19.7%	5.8%
アメリカ	4,100 人	1,800 人	+ 2,300 人	+127.8%	1.7%
タイ	2,000 人	1,600 人	+ 400 人	+25.0%	0.8%
シンガポール	2,400 人	1,400 人	+ 1,000 人	+71.4%	1.0%
その他	35,200 人	14,900 人	+ 20,300 人	+136.2%	14.6%
合計	241,600 人	148,900 人	+ 92,700 人	+62.3%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等25,800人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	73,400 人	51,900 人	+41.4%	44.0%	15,100 人	100 人	+15000.0%	20.2%
韓国	50,700 人	30,400 人	+66.8%	30.4%	4,500 人	4,800 人	△6.3%	6.0%
中国本土	15,900 人	8,600 人	+84.9%	9.5%	24,400 人	16,100 人	+51.6%	32.6%
香港	13,000 人	12,000 人	+8.3%	7.8%	900 人	5,300 人	△83.0%	1.2%
アメリカ	2,400 人	1,700 人	+41.2%	1.4%	1,700 人	100 人	1600.0%	2.3%
タイ	2,000 人	1,600 人	+25.0%	1.2%	0 人	0 人	—	0.0%
シンガポール	2,300 人	1,400 人	+64.3%	1.4%	100 人	0 人	皆増	0.1%
その他	7,000 人	3,900 人	+79.5%	4.2%	28,200 人	11,000 人	+156.4%	37.7%
合計	166,700 人	111,500 人	+49.5%	100.0%	74,900 人	37,400 人	+100.3%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等25,800人を含む。

外国客の地域構成比

